

朝霞市議会
請願第 2 号
平成30年 2月19日

請願書

「給付制奨学金制度の拡充を求める」意見書を

国にあげてください

紹介議員

斉藤 弘道

朝霞市議会議長様

2018年2月19日

新日本婦人の会朝霞支部支部長

深澤 侃子 (ふかざわ やすこ)

朝霞市根岸台7-20-35

件名「給付制奨学金制度の拡充を求める」意見書を

国にあげてください

「奨学金を月6万円借りて、学費にあてている」、「奨学金の返済が不安」、…
高い学費や生活費のために、学生の2人に1人が、将来の借金となる奨学金を
利用しています。平均利用額は300万円にものぼり、多くが有利子です。

現役学生は、奨学金返済の不安を抱えて、安心して学べません。奨学金の利
用を控え、過重なアルバイトをせざるを得ない学生も増えています。

学生をもつ家族の負担も限界です。卒業生は、奨学金の返済に生活を圧迫さ
れ、高校生は、経済的理由から進学を断念する人が後を絶ちません。

高い学費と“教育ローン”と化した奨学金が、若者に“進学をあきらめるか、
バイト漬け・借金漬けで進学するか”という究極の選択を押し付けている現状
の解決は待ったなしです。

来年度から給付制奨学金制度が本格実施されます。

以下の項目について国に意見書を提出していただきますよう、お願いします。

【請願項目】

給付制奨学金の支給対象、支給額を拡充してください